

2021年6月11日

各位

農林中央金庫
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社

ファンドラップサービスの提供に向けた業務提携契約の締結について

農林中央金庫（理事長：奥^{おく}和登^{かずと}、以下「農林中金」）は、2021年6月11日に、投資一任運用サービスであるファンドラップサービスについて、JAバンク（※1）での提供開始に向けて、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長：荒木^{あらか}三郎^{さぶろう}、以下「MUMSS」）、三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：長島^{ながしま}巖^{いわお}、以下「MUTB」）と業務提携契約（以下「本提携」）を締結しました。

本提携に基づき提供するファンドラップサービスは、ゴールベース・アプローチ（※2）により、お客さま一人ひとりの資産運用にかかるご要望や課題を踏まえ、目標を設定・共有し、その達成に向けてお客さまに代わって資産運用の専門家が投資判断や売買などの運用・管理のすべてを行い、目標達成を長期的にサポート（伴走）していくサービスです。

JAバンクは、MUMSSの代理業者として、MUMSSを運用者とするファンドラップサービスをJAバンクの組合員・利用者に提供します。農林中金は、ファンドラップサービスのJAバンクでの円滑な導入・提供に向けてMUMSSおよびMUTBと連携してまいります。

MUTBは、機関投資家として企業年金運用業務などで培ってきたノウハウを活用し、MUMSSが提供する運用コースの一部について、短期的な相場下落の影響を抑制しつつ、中長期的な資産形成を目指す投資助言を行います。

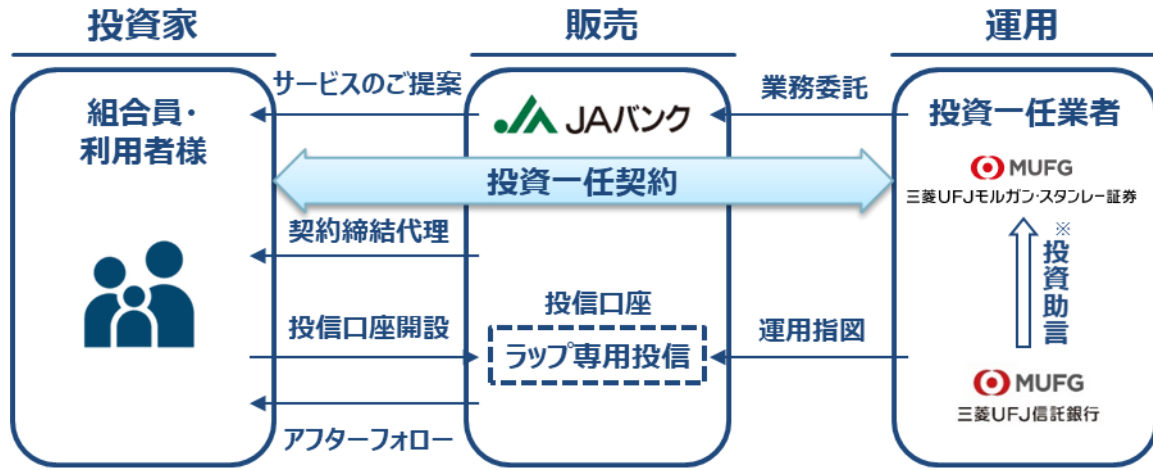
2022年4月より順次、投資信託を取り扱う全国のJAバンクでの提供開始を予定しています。なお、ファンドラップサービスの詳細につきましては、別途、提供開始までに発表いたします。

農林中金、MUMSSおよびMUTBは、本提携を通じ、「人生100年時代」における「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進していくとともに、JAの組合員・利用者へ最良のサービスを提供し、幅広い資産運用ニーズに応えてまいります。

※1 JAバンク会員（2021年4月1日時点会員数：563JA、32信用農業協同組合連合会、農林中央金庫）で構成するグループ

※2 お客さまやその家族の人生の夢・目標（ゴール）・課題の達成に向けて、資産を運用し、進捗管理していく手法

<スキーム図>



※提供する一部の運用コースについて助言を実施

以上